

2017 年度事業報告

I. 千葉県内の社会的養護下の子どもへの措置解除後の自立支援事業

- ・2017 年度より、「こども・若者未来基金」の寄付募集を本格的に開始しました。1,000 万円の目標に対し、2016 年度分も含め 9,493,000 円の基金への寄付が集まりました。中でも、基金運営委員会に参加している 3 つの生協組合員からの寄付は、7,116,000 円と、寄付の過半を占めました。
- ・11.12 月の寄付募集キャンペーンに向け、3 生協での寄付集めを有効に行うため、5 回生協実務者との打ち合わせを重ねました。その中での発案により、2 回のこどもたちの現状や基金について知ってもらうためのシンポジウムを開催しました。

第 1 回：10 月 10 日（火）船橋勤労市民センター 参加者 85 名

基調講演 宮本みち子さん（放送大学副学長・本基金運営委員長）

第 2 回：10 月 27 日（金）アミュゼ柏 参加者 73 名

基調講演 佐藤 陽一さん（自立援助ホーム南柏ホーム長）

- ・基金の募集期間は 9 月 1 日～11 月 30 日とし、2018 年 1 月末に助成先を決定しました。6 人 9 件の応募があり、全ての助成を決定しましたが、2 人(3 件)の辞退がありました。
- ・一次募集の助成決定の後、寄付額に余裕があったので、1 月 22 日～2 月 20 日に追加募集を行いました。追加募集には 6 件の応募があり、全ての助成を決定しました。
- ・最終的には 10 人 12 件助成となりました。助成の内訳は、まなびサポート（入学や進級時の一時金）3 件、くらしサポート（進学した子どもの月々の生活の援助）2 件、資格サポート（資格取得に必要な資金の援助）3 件、くらしスタート（1 人暮らしを始めるにあたり必要な資金を援助）4 件です。
- ・一次募集は進学する人の応募が多く、追加募集は、今後 1 人暮らしを始める人の応募が大半でした。
- ・この基金は、当初社会的養護下の子ども・若者のセカンドチャンスも応援したいという思いで設立しましたが、今回の応募は一次募集、追加募集共に、ほとんどが順当に施設等から自立し、新しい生活を始めようとする人たちからの応募でした。応募者は全員、ぜひ助成をして頑張ってもらいたいと思える人ばかりでした。
- ・助成のメニューが明確だったため、上手くマッチする人からの応募があったと思われます。
- ・助成決定のための面接は、基金運営委員会メンバーから選考委員を選出し、各回 4 名の選考委員が面接を行いました。選考委員の報告を受け、基金運営委員会にて助成を決定しました。
- ・パルシステム千葉の協力により、こども・若者未来基金の DVD を作成しました。次年度以降、様々な場所で活用していきます。
- ・各生協の組合員へ向け、寄付募集活動の報告と次年度以降の寄付募集につなげるために、統一の報告書を作成し、配布しました。
- ・この基金では、金銭的支援と就労支援を車の両輪と考えていますが、2017 年度は金銭支援から開始しました。就労支援、住居紹介については、次年度以降の課題です。
- ・こども・若者未来基金の特徴である伴走者支援については、支援費の申請が現在 2 件届いていません。伴走者支援の状況については、2018 年度終了後の総会で報告します。

II. 貧困家庭など、家庭に課題を持つ子どもの支援事業

- ・生活クラブ風の村が千葉県より事業受託したアフターケア事業 CANS（ちばアフターケアネットワーク

クステーション)の事務局の一部を受託しました。事務所当番とCANSが主催するアフターケア勉強会の運営の補助が主な受託の内容です。

- ・2016年度「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーinちば」を開催した実行委員会（千葉県社会福祉協議会、千葉県社会福祉士会、ちばこどもおうえんだん）の主催で、2018年1月27日（土）に「広がれ！こども応援のわ！ つくろう！こども応援ネットワーク」を船橋中央公民館にて開催し、200名の参加がありました。
- ・第1部の基調講演では、「見えない貧困～いま、なぜこどもの貧困なの？」というタイトルで、NHKスペシャル「見えない貧困」チーフプロデューサーの板垣淑子さんにお話頂きました。第2部の県内外で子どもたちを応援する様々な取組を報告するリレートークでは、「こども・若者未来基金」について湯浅理事長が報告しました。今後も、緩やかに団体同士でつながっていけると、大きな力になると思います。
- ・7月2日（日）、「公益財団法人あすのば」が主催する「全国キャラバン」への後援、協力をするとともに、ちばこどもおうえんだんの取り組みについて報告しました。このつながりの中から、「広がれ！こども応援のわ！」へ（公財）あすのばで活動する当事者の登壇が実現しました。
- ・こどもおうえん広場2017&オレンジリボンキャンペーンを、11月3日に開催し520人の参加がありました。当日のステージ発表には児童養護施設の子どもの参加もあり、少しずつ参加者が広がっています。

Ⅲ. 里親家庭支援について

・千葉市より里親制度推進事業を受託しました。また、千葉県より千葉県里親大会の企画運営を受託しました。

【千葉市の事業について】

・千葉市における里親制度推進事業では、里親制度推進実行委員会を継続し、里親関連事業についての企画運営、進捗管理を行いました。市内の児童家庭支援センターや、県内の里親支援機関と弁護士（アドバイザー）など、実行委員会メンバーを拡充しました。

会議日程

日にち	場所	内容	参加人数
6月23日（金）	美浜保健福祉センター	H29年度事業について・里親ニーズ調査について・今後の実行委員会の日程について	18人
8月24日（木）	美浜保健福祉センター	H29年度事業について・シンポジウムについて・いなげモデル事業について・各団体における「入門講座・制度説明会」の実施について・千葉都市モノレール千葉駅ポスター掲示について	11人
10月26日（木）	千葉市ビジネス支援センター会議室	シンポジウムについて・各団体における「入門講座・制度説明会」の実施について・上映会と制度説明会について・いなげモデル事業について・中央区モデル事業について・市内	12人

		6区制度説明会	
12月19日(火)	美浜保健福祉センター	自主上映会と制度説明会について・コープみらいきやっせ物産展へのパネル展示について・中央区モデル事業について・各団体における制度説明会について・いなげモデル事業について	12人
2月22日(木)	美浜保健福祉センター	2017年度事業について	8人
3月23日(金)	美浜保健福祉センター	2017年度事業について	12人

シンポジウムの開催

・広く多くの人に里親制度を知ってもらうために、シンポジウムを開催しました。当日は、台風接近にも関わらず74名の参加がありました。目標人数には至りませんでした。休憩時間に登壇者の坂本さんと里子さんの交流など、あたたかい時間がありました。

・また、里子さんの体験談では、里母さん里父さんへの感謝の気持ち、実子さんからはお母さんを思いやる気持ちを聞くことができました。

10月29日(日) 13:30~16:00 こども交流館(きぼーる3階) 参加者74名

第1部基調講演「熱をもって接すれば、熱を持ってかえってくる」

講師：元プロボクサー坂本 博之さん

第2部里子・実子体験談

里親入門講座(説明会)の開催・パネル展示

・小さな単位で里親について知る機会を増やし、興味関心のある人に直接話をする機会として、里親入門講座を市内6区で開催しました。また、里親制度推進実行委員会メンバーの所属する団体主催の上映会+入門講座なども開催しました。

・またモデル事業として、支援のネットワーク作りを目指して稲毛区で5回「里親おうえんだん連続講座」を、施設を中心にした里親の創出を目指して中央区で、3回の入門講座を開催しました。

・2016年度にから実施している、市内ファミリーサポート提供会員へ向けた説明会を、各区で実施しました。

(1) 市内6区

日時	区	会場	内容	参加者
5月17日(水) 10:00~11:30	中央区	生涯学習センター	里親体験談と制度説明	6人
6月10日(土) 14:30~16:00	若葉区	都賀コミュニティセンター		9人
6月23日(金) 18:00~19:30	花見川区	幕張公民館		3人
11月28日(火) 14:00~15:30	稲毛区	小中台公民館		2人

12月9日(土) 10:30~12:00	美浜区	高洲コミュニティセンター		2人
12月11日(月) 10:30~12:00	緑区	鎌取コミュニティセンター		2人

参加者：のべ24人

(2) 実行委員会参加団体主催

日時	主催	対象	内容	参加人数
5月29日(月) 13:30~15:00	なのはな生活協同組合	役職員	制度説明・里親体験談	20人
2018年2月18日(日)	コープみらい	組合員・一般	きやっせ物産展でのパネル展示とアンケート ポケットティッシュ900個配布。	アンケート182枚回収
2018年2月23日(金) 10:10~12:00	生活クラブ虹の街	組合員・一般	制度説明・「隣る人」自主上映会	30人
2018年3月23日(金) 10:00~12:00	パルシステム千葉	組合員・一般	制度説明・「隣る人」自主上映会	41人

参加者：のべ91人とアンケート参加182人

(3) 地域資源活用モデル事業

① 稲毛区

日時	対象	内容	参加人数
10月4日(水) 10:30~12:00	里親制度に関心のある人・支援者等	里親制度説明・児童家庭支援センターについて	7人
11月2日(木) 10:30~12:00		里親体験談	6人
12月4日(月) 14:00~15:30		民生児童委員の取り組みについて・ファミリーサポートセンターについて	6人
2018年1月10日(水) 14:00~15:30		VAIC コミュニティケア研究所「すまいるじょい」の取り組みについて	5人
2月8日(木) 10:30~12:00		私たちにできること	7人

参加者：のべ31人

② 中央区

日時	対象	内容	参加人数
1月20日(土)	地域の方・近隣の	里親制度について	7人

10：30～12：00	民生児童委員		
2月17日（土） 10：30～12：00		響の杜学園の生活	8人
3月10日（土） 10：30～12：00		響の杜学園と地域の連携	24人

参加者：のべ39人

（4）ファミリーサポート提供会員向け

日にち	区	場所	参加者
5/22（月）	美浜区	美浜区保健福祉センター	8人
5/25（水）	緑区	緑区保健福祉センター	11人
5/26（木）	稲毛区	小中台地域交流館	7人
5/29（月）	花見川区	花見川区保健福祉センター	11人
5/31（水）	若葉区	若葉区保健福祉センター	5人
6/1（水）	中央区	中央区保健福祉センター	9人

参加者：のべ51人

（5）「わたし生きてていいのかな」上映会

日時		対象	参加者
2018年2月10日（土） 12：30～12：15	小中台中学校	保護者・PTA・地域の民生児童委員・育成委員など	17人
2018年2月10日（土） 14：30～16：15	新宿小学校		15人

参加者：のべ32人

（6）パネル展示

期間	場所
5/1（月）～5/8（月）	そごう地下通路
6/5（月）～12（月）	ラパーク千城台
9/16（土）	千葉市生涯学習センター（千葉市青少年の日フェスタ）
10/17（火）～23（月）	きぼーるアトリウム

その他

・千葉ロッテマリーンズの試合（千葉デー）、中央区祭りにて、里親啓発のためのティッシュを配布しました。また、各種イベントにて使用できる「里親になりませんか」というのぼり旗を作成し、各種イベントで活用しています。

・10月の里親月間にあわせてポスターを作成し、千葉都市モノレール主要3駅（千葉駅、都賀駅、千葉みなと駅）へのポスター展示を行い、各区、鎌取イオンでもポスターを展示しました。

- ・里親家庭への直接支援は行えませんでしたでしたが、昨年度に引き続き、学習ボランティアへの交通費補助は継続しました。
- ・里親ニーズアンケートを実施しました。30組の里親からの回答があり、里親さんの要望していることを把握することができました。そのアンケートを受け、さらに学習支援についての追調査を行いました。これまで2組の里子への学習支援を継続してきましたが、新たに1人の里子に学習ボランティアをつなぐことができました。
- ・学習ボランティアについては、次年度以降の人材確保のために、神田外語大学へボランティア募集のチラシを設置してもらいました。
- ・ちばこどもおうえんだん、市内の里親支援専門相談員、児童家庭支援センター職員で構成する、千葉市里親制度事業委員会を2ヶ月に1回開催し、パネル展示ややまびこキャンプなどについて調整を行いました。
- ・3月10日（土）には、地域の民生児童委員や保健師さんなどを対象にした、千葉市里親制度事業委員会主催の里親関連のDVD上映と制度説明会を開催しました。
- ・児童相談所里親支援担当と里親支援専門相談員、ちばこどもおうえんだんの3者で2か月に1回協議の場を持ち、情報共有と今後の事業のすすめ方について相談をしました。
- ・2017年度事業報告を、千葉市に提出しました。その中で、2015年度～2017年度の3か年の事業の総括についてもふれています。

《以下、2015年度～2017年度事業の総括（千葉市へ提出した報告書より）》

2015年度千葉市里親制度推進事業業務委託企画提案書

1. 社会的養護・里親制度推進についての考え（事業の応募理由）より抜粋 （前文略）

現在、千葉市においては59組の里親の登録がありますが（うち、里親委託されているのは17組18人・2014年度末）、国の掲げる方針である家庭養護3分の1を目指すには、里親の担い手が足りない状況だと考えます。それをいかに増やしていくのが、課題です。

まずは社会的養護の必要な子どもたちの現状を多くの人に知ってもらいたい。そしてその子どもたちには「里親」が必要なことを知ってもらいたい。そして「里親」の担い手を増やしていきたい。里親家庭で暮らすことも、一つの当たり前前の家庭での暮らしであることを、認めあえる社会を作りたい。

それには一人でも多くの市民へ、正しい情報をきめ細やかに伝える「発信・周知」が重要です。私たちの団体の活動には、県下の生協団体が応援参加しています。生協の組合員は、安全な食から環境問題をはじめとした社会問題への関心が高く、社会的養護の必要な子どもたちへの理解も深いと思われます。そういった方たちから、すそ野を広げること始めていきたいと考えています。その中で、**千葉市が第2次実施計画の中で掲げている「2017年度までに里親等委託率を25%までアップ」**することを目指します。

そして「社会的養護下の子どもたちがより家庭的な環境の中で自分らしく暮らしていける社会」を、そして「周囲の大人が、子どもたちの育ちを温かく見守ることのできる社会」を目指したいと思えます。

2015年度～2017年度事業の総括

・2015年度～2017年度のおよそ2年半、千葉市里親制度推進事業を受託し、児童相談所の意向を確認しながら、広報啓発を中心とした事業をすすめてきた。2015年度の事業提案には、「2017年度までに里親等委託率を25%までアップすることを目指す」とあり、2017年度末（2018年度3月23日現在）には、千葉市の里親等委託率は、27.6%となっており、千葉市里親制度推進事業についての当初の数値目標の達成はできている。

・生協団体、労働者団体などからの参加も得ながら、里親制度推進実行委員会を形成し、事業を推進してきた。当団体の特色でもある生協団体との連携や生協組合員（社会的課題への感心のある市民）への情報発信については、この2年半でようやく土台が整い意識の醸成がなされつつある段階といえる。植物に例えるなら、土を耕し、種をまき始めたところであり、今後芽が出てくる（里親についての自らの可能性について考える人が出てくる）ことが大いに期待される場所である。

・2017年度末（2018年度3月23日現在）の千葉市の里親等委託率は、27.6%（2016年度末23.1%）2017年度の新たな里親登録は5組、現在27組の里親に38人の子どもが委託されている。委託率を押し上げている要因は、「兄弟委託や親族里親または扶養義務のない親族への委託が増えている」ので、というのが児童相談所の分析であった。

・しかしながら、国の里親重視の政策もあり、市民の目に「里親」が捉えられる機会も増えており、これまで行ってきた広報啓発活動と、社会的な動きの相乗効果により、里親に対する意識が高まってきているのではないかと感じる、というのは実行委員会の各委員からの感想にもあった。千葉市において委託率が上がった（親族里親が増えた）こととも無関係とはいえないのではないかと。

・確かに当団体が行ってきた広報啓発からの里親登録・委託と明らかに分かるのは、2016年度1組（2名）、2017年度1組（2名）であることから、数値としての実績が出せたとは言えない。ただ実行委員会に関わる委員からは上記の各項目の状況から、2年半の準備段階からいよいよ里親開拓の本格的な動きへ移行する段階になった、との認識が述べられている。

・2015年度に視察を行った里親等委託率を大いに伸ばしている自治体においては、官・民（NPO）の関係が良好であって、有機的な連携が窺えた。また里親会が積極的に里親啓発・里親開拓・研修支援を行っている自治体もある。当団体が「里親制度」という個人情報に大きくかかわり活動が制限される事業をすすめるに当たり、行政との連携の取り方が適切であったかどうか、また里親会との協力体制が取れていたかどうかは、重要なポイントであったと考える。

・なお、千葉市児童相談所と話し合う中で、千葉市側の考え方に変化もあり、ちばこどもおうえんだんとしては、2018年度の千葉市里親制度推進事業への応募は見送ることとします。

【千葉県里親大会】

10月22日（日）13：30～16：00 ビジネス支援センター（きぼーる13階）参加者84名

第1部基調講演「こどもたちが本当に欲しいもの～愛情とは何か？～」

講師：社会福祉法人チルドレンス・パラダイス 子山こども家庭支援センターセンター長

柴田敬道さん

第2部里親体験談

IV. 特別養子縁組などについて

- ・7月14日（金）に、日本財団、NPO 法人 CAPNA との共催で、「特別養子縁組実践研修～新生児委託とパーマネンシーについて」を開催しました。当日は、千葉県内、関東圏だけでなく日本全国からの参加がありました。
- ・8月19日には、県内で初めて特別養子縁組をすすめる NPO ベビーブリッジの設立シンポジウムに参加しました。今後、連携を深めていきたいと思えます。

V. 啓発・広報事業について

1. 啓発事業

- ・4回のシンポジウム（千葉県里親大会・千葉市里親制度推進シンポジウム・社会的養護の子ども暮らし自立を考えるシンポジウム2回）を開始しました。
- ・また、2箇所での社会的養護に関する映画「わたし生きてていいのかな」の、自主上映会を開催しました。参加者はのべ32人と少なかつたのですが、映画を見た人からは「もっと多くの人に見て欲しい」という声が多く、好評でした。

2. 広報事業

- ・ニュースレターを2回発行しました。
- ・Facebook や HP でのイベントの告知などを行いました。

VI. 調査研究活動事業

- ・千葉市里親制度推進事業の中で、里親ニーズ調査を行いました。30件の回答がありました。これまで千葉市児童相談所などが行うアンケート調査等は、半数の回答があれば良い方だということでしたが、予想に反し多くの回答が得られました。その中で、里親さんの要望していることが見えてきました。次年度以降の里親支援の中で、反映していく予定です。
- ・アンケートから、「場」「研修」「里子への学習ボランティア」「一元的な情報」などのニーズが見えました。
- ・「場」については、「同世代の子どもを持つ里親同士の交流の場」や「近隣の里親同志の交流」、「絵本や資料の貸し出しの場」などの場についてのニーズがあり、また「研修」については、里親としての自己研鑽、子どもとの接し方・遊び方、里親の体験談、真実告知等のニーズが挙げられました。
- ・里子への学習ボランティアのニーズは、「話し相手」も含めると、回答者の70%を超える人が利用したいという回答でした。
- ・里親家庭からの自立に関する情報のニーズも高く、自立支援を含む包括的な情報提供を求める声がありました。
- ・未成年後見人制度についての調査研究は、実施できませんでした。

VII. 組織運営

1. 運営体制

- ・事業を円滑にすすめるため、以下の会議を持ちました。

理事会：7月20日・10月19日・2月22日・4月24日

こども・若者未来基金運営委員会：

4月18日・5月19日・9月18日・12月14日・1月18日・3月8日

里親支援事業推進実行委員会：

6月23日・8月24日・10月26日・12月19日・2月22日・3月23日

2. 会員拡大について

・会員拡大を目指しイベント等の際には団体のリーフレットを配布しましたが、会員数はあまり伸びがありませんでした。

		目標	実績	実績口数
運営会員	個人	20人	14人	17口
	団体	5団体	4団体	34口
おうえん会員	個人	100人	60人	127口
	団体	15団体	8団体	29口

3. 認定 NPO 取得について

- ・認定 NPO 取得の準備をしましたが、過去の書類の不備等があり今年度は申請を断念しました。
- ・2017年度、2018年度を判定期間とし、2019年度に再度認定 NPO 取得を目指します。

4. 他団体との連携について

- ・関係機関や他団体との連携をすすめ、子どもたちの支援に必要な事業を検討します。
- ・12月1、2日に開催された「日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会」の実行委員会に参加し、当日に向けた準備を行いました。2日間で、約2900人の参加者がありました。実行委員会には約2年関わり、子ども虐待を考える様々な人たちとの緩やかなネットワークができました。
- ・千葉県内で子ども関連の活動をしている団体と連携し、日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会のイベント「こどもおうえん広場2017&オレンジリボンキャンペーン」を開催しました。当日は、520名の参加がありました。人権懇話会では、「子どもの虐待を防ぐために、あなたにできること」をテーマに、行政、医療、民間3名のパネリストによる、パネルディスカッションを行いました。また、子育てのNPOを中心に21団体のパネル展示がありました。

5. その他

- ・久光製薬（株）ほっとハート倶楽部より、寄付金をいただきました。ほっとハート倶楽部は、「社会教育」「まちづくり」「子どもの健全育成」等の活動をしている団体の社会貢献活動を支援するために、2007年に設立され、毎年多くの団体への寄付を実施しています。
- ・他団体との関係性を積極的に構築しました。

関係性を構築した様々な団体

○オレンジの会（子ども家庭サポートセンターちば）

- 千葉県ファミリーサポートセンター
- 子どもの貧困対策センター 公益財団法人あすのば
- 千葉県里親会
- 香取市青少年育成委員会
- 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会
- 千葉市文庫連絡協議会
- 千葉県児童福祉施設協議会
- 千葉県自立援助ホーム協議会
- 千葉市教育委員会
- 協同組合千葉県若人自立支援機構
- 千葉市ことぶき大学校
- 首都圏若者支援ネットワーク
- 木更津市教育委員会

研修会等への参加

- 養子縁組実践WS（一般社団法人全国養子縁組団体協議会）
- タイガーマスク基金
- DV 防止サポートネットちば
- 公益社団法人フィランソロピー協会（自転車と少年上映会）
- 千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク（実務者ミーティング）
- NPO 法人千葉県里親家庭支援センター（里親の学校）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数
自立支援事業	社会的養護の子どものくらしと自立を考えるシンポジウム@船橋	10/10	船橋勤労市民センター	5人	社会的養護の子どもの自立支援に関心のある不特定多数 85人
	社会的養護の子どものくらしと自立を考えるシンポジウム@柏	10/27	アミュゼ柏	5人	社会的養護の子どもの自立支援に関心のある不特定多数 73人
貧困家庭・要支援家庭の子	「広がれ！こどもおうえんのわ！ つくろう！こども応援ネット	2018年1/27	船橋中央公民館	3人	子どもの貧困防止等に興味のある不特定多数 200人

子どもの支援事業	ワーク」				
	ちばこどもおうえん広場 2017&オレンジリボンキャンペーン	11/3	きぼーるアトリウム	2人	子どもと子どもの支援に興味関心のある不特定多数 520人
里親家庭支援事業	里親制度についての入門講座（学習会）の開催	5/17・6/10・6/23・11/28・12/9・12/11	市内	4人	里親制度に興味のある不特定の参加希望者 24人
	拠点を活用した支援のネットワーク作りのための連続講座	10/4・11/2・12/4・2018年1/10・2/8	いなげビレッジ虹と風	2人	里親制度や支援に興味のある不特定の参加希望者 31人
	児童養護施設を拠点とした里親説明会	1/20・2/17・3/10	千葉みらい響の杜学園	2人	里親制度や支援に興味のある不特定の参加希望者 39人
	里親制度についてのシンポジウムの開催	10/29	きぼーる3階こども交流館	7人	里親制度に興味のある不特定の参加希望者 74人
	千葉県里親大会	10/22	千葉市ビジネス支援センター一会議室	8人	里親制度に興味のある不特定の参加希望者 84人
	映画の自主上映会と里親制度説明会	2018年2/10 午前・午後	(午前)小中台中学校・(午後)新宿小学校	2人	里親制度や社会的養護に興味のある不特定の参加希望者 32人
	特別養子縁組実践研修～新生児委託とパーマネンシーについて	7/14	千葉市中央保健福祉センター	4人	特別養子縁組に関心のある不特定多数 74名
啓発・広報事業・政策提案	SNSやHPを活用した情報発信	随時	法人事務所内	1人	不特定多数
	ニュースレターの発行	6月2018年2月	法人事務所内	3人	不特定多数